



美東小だより



【学校教育目標】

「ふるさと美東を愛し 夢や目標に向かってたくましく生きる子どもの育成」

「全国学力・学習状況調査」を踏まえて、児童の力を伸ばす

4月17日に6年生対象に「全国学力・学習状況調査」が行われ、その結果が7月末に公表されました。本校では、結果に基づき教職員で分析や検証を行い、9月11日に行われた第2回小中学校運営協議会において、検証結果・今後の取組等を踏まえ、提示・説明をしました。

全国学力・学習状況調査の『ねらい』とは・・・

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てていきます。【文部科学省より】

国語・算数・理科の教科を受けました。それらの平均結果を山口県及び全国と比較すると、理科はほぼ県や全国と同じでしたが、国語・算数は、山口県及び全国と比較すると、かなり低い結果となりました。ただ、昨年度（統合前の大田小・綾木小・淳美小）の時と比べると、平均点は伸びています。もちろん、数値だけがすべてではありません。どの教科も最後まで粘り強く考え抜き、空欄回答はほとんどなく、粘り強さを感じました。そして、上記「ねらい」のもと、課題と成果を検証しました。

右に国語と算数の主な課題を挙げます。国語は「書く力」、特に「自分の考え、意見を文章にまとめる力」、算数は「分数の計算力」と「式の意味を説明する力」を身に付ける必要性を感じます。そのためには、「基礎・基本」の徹底と「教え合い・学び合い」を基盤とした授業づくりに努めます。

国語の主な課題

- ・漢字の書き取り、敬語の使い方など基礎・基本の学習を徹底していく必要性を感じる。
- ・資料に書かれてある内容を理解したり、資料の内容を要約する力が身に付いていない。
- ・文章にする力・まとめる力を身に付けさせる必要がある。

算数の主な課題

- 通分を伴う分数計算に課題が見られる。
- 式を作ることではできるが、式の意味を説明する力に課題が見られる。
- 図形の基礎(台形や平行四辺形の定義・性質)を身につけ、図形の向きや大きさが変わっても対応できる力が必要である。

「学校・家庭・地域」が一体となって学力向上に取り組む

学力を高めることは、豊かな生き方につながっていきます。

学校では、授業の改善を中心に、児童一人ひとりの課題に応じた「学び直し」やスキルタイム・にこ好きタイム（縦割り班での学習）などに取り組めます。また、算数ボランティア・読み聞かせボランティアなど地域の方々の力を借りて基礎学力の定着をめざしています。家庭では、毎日の家庭学習や日記を書くなど継続的に取り組むようにサポートをお願いします。児童たちの学力は高まっていきます！



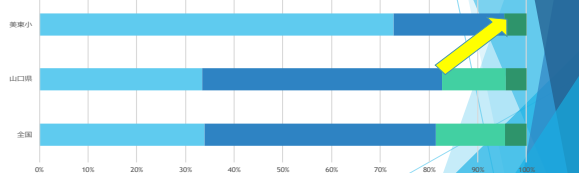
にこ好きタイムの様子

「全国学力・学習状況調査」の児童質問紙から見る

「全国学力・学習状況調査」では、教科（国語・算数・理科）に加え、生活習慣や学習意欲等に関わる質問が行われました。6年生児童対象ではありますが、本校の実態を垣間見ることができますので、一部を紹介します。

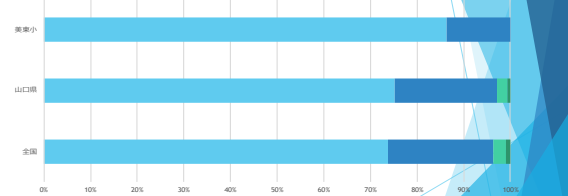
【質問 1】

▶ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



【質問 2】

▶ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



【グラフの見方】上段が美東小、中段が山口県、下段が全国の割合を示しています。水色が「当てはまる」、青色が「だいたい当てはまる」、黄緑色が「あまり当てはまらない」、緑色が「当てはまらない」

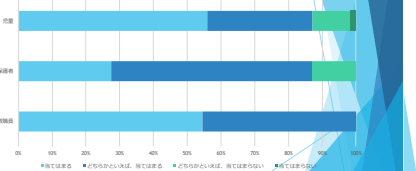
質問 1 の「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答が約 95%です。これは、コミュニティ・スクールを基盤として、地域・保護者の皆様との関わりが深く、児童たちに「ふるさとを愛する心」を育むことにつながっていると感じます。

質問 2 の「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に対して、全員が肯定的な回答をしています。将来の夢や目標をもって生活できている児童も多く、その実現に向けて、これからも地域・家庭・学校で児童たちをサポートしていきたいと思っています。

「前期学校評価アンケート」から見る

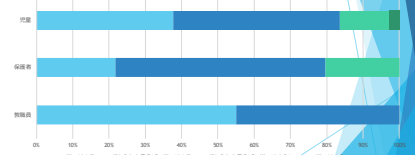
【質問 1】

▶ 学校に行くのは楽しいですか。



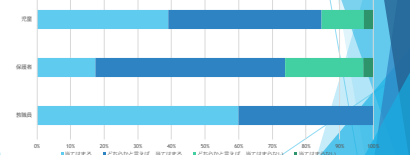
【質問 2】

▶ メディアの使用等と健康とのつながりを考えて自己管理できていますか



【質問 3】

▶ 自ら課題を見つけ、計画的・継続的に取り組むことができますか



【グラフの見方】上段が児童、中段が保護者、下段が教職員の割合を示しています。水色が「当てはまる」、青色が「だいたい当てはまる」、黄緑色が「あまり当てはまらない」、緑色が「当てはまらない」

質問 1 の「学校に行くのは楽しいですか」では概ね「楽しい」と回答する割合が多かったですが、「楽しくない」と回答をする児童がいました。児童一人ひとりに寄り添った対応や児童の自己有用感・自己肯定感を高めていけるように教育活動を進めていきます。

質問 2 の「メディアの使用等と健康」に関する質問では、児童と保護者との認識の差が気になりました。学校では「情報モラル教室」や「小中合同学校保健安全委員会（10月7日実施）」などを実施し、メディアとの関わりや生活習慣について振り返り、課題解決に向けた取組をします。

質問 3 では、児童の肯定的な回答が高い傾向にあります。児童自ら課題に取り組む授業づくりをめざし、粘り強く学習に向かうことができるようにサポートしていきます。

「前期学校評価アンケート」のお礼

7月に行いました「前期学校評価アンケート」のご協力、誠にありがとうございました。小中学校で分析・検証し、それをもとに課題の改善や今後の取組について話し合いました。小中学校では「まなび部会」「そだち部会」「こころ部会」の3部会で児童生徒の意見を取り入れながら活動をしていきます。そうした活動の様子をHP等で紹介します。また、実際にご来校され、参観していただけると嬉しく思います。後期学校評価アンケートは1月中旬に予定しておりますのでご協力のほど宜しくお願いします。